



ジャパンファウンデーションの事業の多くは、他団体と協働して実施されますが国内の団体・機関・地方自治体等との連携を更に強化しようと努めています。また、ジャパンファウンデーションの活動を広く知っていただき市民が参加できるように努めています。

JF サポートーズクラブ

ジャパンファウンデーションの活動をもっと身近に感じていただくため、年会費の形でご寄付をいただいた方には、定期的に隔月刊『遠近』や事業案内をお送りしています。また、原則として月1回「サポートーズクラブイベント」にご招待しています。



2006年度にはジャパンファウンデーションの事業の現場を職員が伝える「日本語教材『エリンが挑戦! にほんごできます。』制作の現場から」「国際文化交流最前線の舞台裏(インドネシア、韓国、フランス)」や、日本語国際センターや関西国際センターでの研修生との交流会、また国際文化交流について考える講演会や講習会「日本語国際センターでの日本語ボランティア対象講習会」「李鳳宇(イ・ボンウ)氏講演会」「記録映像作家姫田忠義監督の講演と作品上映 日本の文化の深層を探る」、外部の国際交流団体との交流「中国人留学生を囲む春節餃子の会」などを開催しました。

JF サポートーズクラブ事務局
Tel:03-5562-3894 Fax:03-5562-3499
E-Mail:membership@jpf.go.jp



情報提供・国内連携

Information Services and Domestic Networking

事業開発戦略室

ジャパンファウンデーションは、CSR（企業の社会責任）の主要な要素となっている企業による国際社会貢献活動を支援します。企業にあった具体的な国際文化交流事業を提案するパンフレット（「企業の国際社会貢献のために」）を作成しています。

また、海外で活躍する日系企業との連携に取り組んでおり、このため、海外の日本商工会議所等と協力して、海外における日系企業の社会貢献活動の現状と課題を調査しています。調査結果は、報告会を通じて国内外の企業と共有するとともに、海外でも広報し、日系企業の社会貢献活動の認知度向上に寄与しています。



『韓国における日系企業の社会貢献活動に関する調査報告書』(2007年6月刊行)

2006年度には、中国と韓国における日系企業の社会貢献活動に関する調査を行いました。

一方、ジャパンファウンデーションは、公募助成事業の申請者も大切なステークホルダーの一人であるとの認識の下、公募申請から事業終了報告をいただくまでの、ジャパンファウンデーションの対応等について、利用者の満足度調査を実施しました。その成果として、この調査の結果をもとに20年度の公募助成事業申請書類の改訂を行いました。



パンフレット『企業の国際社会貢献のために』

京都支部

ジャパンファウンデーション発足と同時にその支部として開設された京都支部は、関西地区の関連団体とのネットワークの構築に取り組む一方、日本研究フェローシップによる招へい者のうち関西に滞在する者に対するフォローや、さまざまな自主事業を行っています。

関西地方での国際交流事業はますます盛んになってきており、また各国際交流活動団体のネットワークが進んでいます。京都支部でも、外部の諸団体と連携を深めています。また、図書室をベースに国際文化交流情報を提供しています。図書室には6,705冊の蔵書とAV資料を備えています。

2006年度にはフェローセミナーを関西地区で13回実施したほか、1973年から恒例の催しである「国際交流の夕べー能と狂言の会」（京都観世会館）を実施しました。



フェローセミナー



京都支部 図書室

地球市民賞



本賞は、地域に根ざした国際交流のモデルとなりうる個人もしくは団体を顕賞することを目的として1985年に「国際交流基金地域交流振興賞」として設置されました。2004年度第20回目を迎え、また地域における国際文化交流活動が発展し、多様化していることから、名称を「国際交流基金地球市

民賞」と改め、単なる交流や相互理解を超えて、地域の変革や活性化につながる国際的な地域間交流や文化交流、相互理解の促進に貢献された団体・個人に贈呈しています（毎年、原則として3件顕彰）。

2006年度は、マスコミ、国際交流団体、自治体など各界から寄せられた推薦117件を元に、地域性、先導性、継続性、自発性、相互性などの選考基準に照らした厳正な選考が行われ、受賞者を決定しました。

2006年度受賞者



ジュニア・グローバル・トレーニング・スクール実行委員会（青森県） 実行委員長 工藤健氏

国際交流体験を通じた地球市民ジュニアの育成を目的として、毎年8月、日本、米国、韓国、ロシアの小学生100名が、青森市内で、国境を超えた友情をはぐくむ共同生活を実施しています。



特定非営利活動法人 多文化共生センター東京（東京都） 代表 王慧槿（ワン・フィチン）氏

多文化の環境にあるこどもたちのステップアップのための活動支援。高校進学を希望する親子のための進路・教育相談、多文化子育てネットワークなど、教育と家族の問題に特化しています。



特定非営利活動法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク（京都府） 理事長 佐東範一氏

コンテンポラリーダンスを日本各地に広め、各地に潜在するダンサーを発掘し、日本各地そして世界の舞台上で踊る機会を提供。日本と世界のダンスネットワークの橋渡し役となっています。

AIR JAPAN

日本のアーティスト・イン・レジデンス ウェブサイト

日本国内で実施されているアーティスト・イン・レジデンス事業の一覧（日本語・英語）が大幅拡充されました。全国の37の事業が紹介されています。インタビュー記事なども掲載されており、リンクページから世界のAIR団体へもアクセス可能です。



ジャパンファウンデーションの出版物・ホームページ

ホームページ

<http://www.jpff.go.jp>

ジャパンファウンデーションのウェブサイトです。最新の情報、海外事務所サイトへのリンク、アーティスト・イン・レジデンスへのリンクなどがあります。



ブログ

<http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation>

ブログ『地球を、開けよう。』若手職員が国際文化交流の現場を伝えます。



メールマガジン

ジャパンファウンデーションの最新ニュースをお届けします。ウェブサイトからお申し込みができます。和文版と英文版があります。

『遠近』(をちこち) 隔月刊の国際文化交流専門誌

『遠近』の名称は、「あちらこちら・ここかこ」 「未来と現在」を意味するやまと言葉に由来しています。日本語・日本文化を海外に知らせ、もっと諸外国との相互理解を深めたい、「人と人」を結ぶ文化の架け橋としての役割を果たしたい。そんなジャパンファウンデーションの思いをこめています。特集記事のほか、ジャパンファウンデーションの活動報告などを掲載しています。購読お申し込みは 山川出版社 Tel 03-3293-8131



2006年度に発行した特集

- 第10号 2006年4月 世界で愛される日本食
- 第11号 2006年6月 多文化を生きる力 オーストラリア
- 第12号 2006年8月 世界は村上春樹をどう読んでいるか
- 第13号 2006年10月 日本発!アニメの魅力
- 第14号 2006年12月 ベトナムを再発見する
- 第15号 2007年2月 市民社会を支える財団

JFIC ライブラリー

国際交流基金図書館は、JFIC ライブラリーとして、2006年4月1日にリニューアルオープンしました。日本研究や国際文化交流に関する蔵書・視聴覚資料をご利用いただけます。JF ウェブサイト上から所蔵図書が検索できます。

開館時間：平日 10:00～19:00

第3土曜 10:00～17:00

JFIC ライブラリー Tel 03-5562-3527



リニューアルオープンした JFIC ライブラリー

ジャパンファウンデーションの見学

ジャパンファウンデーションでは、学生や、国際交流に関心のあるグループなどを見学を受け付けています。大学のゼミなどの一環としても、どうぞご利用ください。事前にどういったことを知りたいのかをお伝えいただければ、できるだけご要望にこたえる受け入れプログラムをご用意いたします。日本語国際センターや関西国際センターの見学も受け付けています。

お問い合わせ先：

情報センター Tel 03-5562-3538

日本語国際センター (埼玉県さいたま市)

総務課 Tel 048-834-1181

関西国際センター (大阪府田尻町)

総務課 Tel 0724-90-2601